

小学校1・2年生～

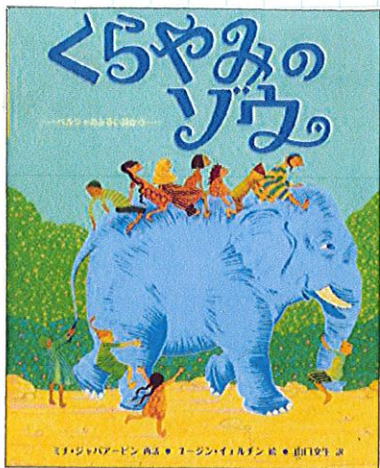
2019年9月 no.72

よんでネット*

2019

秋号

発行口茅ヶ崎市立図書館／協力口茅ヶ崎図書館子どもの本の会



評論社 (E.絵本のコーナー)

「くらやみのゾウ」

—ハルシャのふりい詩から—

ミナ・ジャバーヒン 再話
ユージン・イェルチン 絵
山口文生 訳

おおかね

大金もちのアフマドは、とおいインドから とてつもなく
大きくてふしぎな生きものをつれてきました。

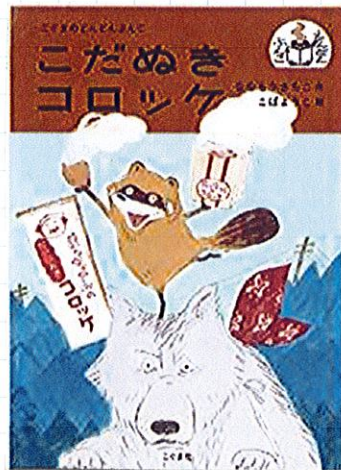
むらびと

村人たちは まくらなくらの中にしのびこみ、生きものに
さわってみました。「へびのようだ」「木のみきみたい」
「まるでうちわだ」「絵ふでみたい」 いっさい だれが
正しいのでしょうか。

「こだぬきコロッケ」

ななもりさちこ作
こばようこ 絵

つきなみ山にある『たぬばけ道場』のこだぬきポン吉は、
ばけるのがへたで 毎日おこられてばかり。ある日 はらへこの
オオカミが、ねていたポン吉をコロッケとまちがえて かぶりつき…。
オオカミからおいしいコロッケのはなしをきいたポン吉は
たべたくなった。そこで、人間にばけ、オオカミは犬のふりを
して、いっしょに 村の コロッケやさんに 行ってみると…。



こぐま社 (913ナ)

「まちのコウモリ」

中川 雄三 写真・文



ホフラ社 (48ナ)

ゆうやけぞらを みあげてごらん。

ひらりひらりと とんでいるのが ぼくら、アブラコウモリ。
そらをじゆうにとびまわれるけものは、コウモリのなかま
だけなのさ。だいいこうぶつは、蚊。

かっこうやゼル、みんなのちかくに、ぼくらは
すんでいるんだよ。

物語
「たくさんのお月さま」

ジェームズ・サーバー作 ルイス・スロボドキン 絵
なかがわ ちひろ 訳



徳間書店 (933サ)

ひょうきになってしまったレノアひめは、王さまにいい
ました。「お月さまがほしいな。お月さまをもらったら、きっと
げんきになるとおもうの。」王さまは、大臣や魔法使いや
数学の大先生に「月をとってきてもらいたい」と相談します。
でもみんな「月は遠くにあるのでだれにもとれません」
といひます。こまった王さまは...

「あそびうたするものこのゆびとまれ」

なかわき 初枝 編
ひろせべに 絵

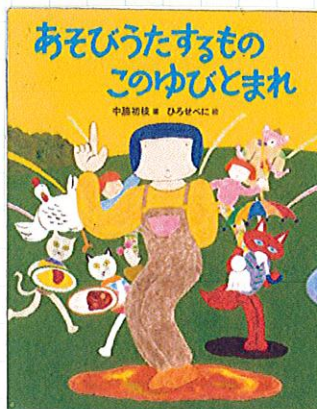
あそびうたってしってる？ おじいちゃんや
おばあちゃんも うたったこと、あるかもね！

♪ せっせっせーのよいよいよい♪
♪ かーごめ かごめ ♪

ほかにも、からかうたや、おまじないうた
もある。この本をよんだら、うたってあそんで
みたくなるよ。

さあ ♪ どれにしようかな？ ♪

「あそびうたするものよっというて」も
あります。



福音館書店 (911ナ)

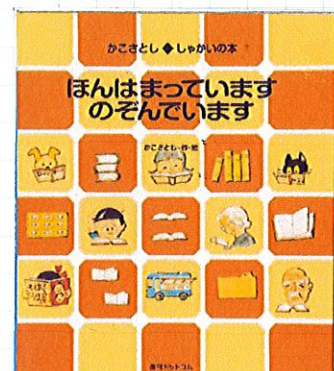
「ほんはまっています
のぞんています」

かこさとし 作・絵

あなたは図書館を覗いていますか？
そこには たくさんのお本があります。

どきどきわくわくする本、げんきになる本
などなど...。かりかたやわからないことは
図書館のひとが おしえてくれます。

よむのがすきなひとはもちろん、そんなに
すきでないひとも、おはなしかいやかみしばい
をたのしむことができます。本は あなたが
手にとってくれるのを まっています。



復刊ドットコム (01カ)